

1 サービス案内編

2 テーマ設定編

3 資料収集編

4 評価・整理編

5 成果発信編

Guide 3-22 人物情報の探し方

▶ 人物を調べる

人名事典・人名録・Who's whoなどを使います。ここでは北大で契約しているデータベースで人物を調べることができるデータベースを紹介します。

[\[図書館HPトップ > 資料を探す > データベース > データベースをキーワードから探す\]](#)

人物情報の探し方については、リサーチナビ（国立国会図書館の調べ方案内サイト）の「人物情報」が詳しい。

[\[日本の人物情報（リサーチナビ）\]](#) [\[外国の人物情報（リサーチナビ）\]](#)

日本人名大辞典 [北大契約データベース内で利用可]



- **JapanKnowledgeLib（ジャパンナレッジ Lib）内で利用可能。**
- 記・紀神話の時代から、飛鳥、奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、織豊、江戸の各時代を経て現代に至るまで、政治・法律・思想・宗教・経済・産業・科学・社会・教育・文学・絵画・音楽・建築・工芸・芸能・スポーツなど、あらゆる分野で活躍した人々を網羅した、日本最大規模の人名辞典。
- 2001年に冊子版が発行（本館・北図書館にあり）。データベース版は現在も定期的に追加・更新されています。

日経Who's Who [北大契約データベース内で利用可]



- **日経テレコン21（日本経済新聞）内で利用可能（図書館データベースページのリンクからアクセス→「人事検索」）。同時アクセス数2**
- 全国の上場および有力未上場企業約20,000社の役員・執行役員・部長・次課長約28万件に加え、中央官庁、政府関係機関、審議会、経済・業界団体、都道府県および市の幹部職員または国会議員および県議会議員約2万件の人事情報を収録。

(朝日新聞) 人物データベース [北大契約データベース内で利用可]



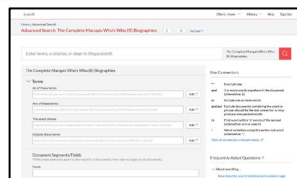
- **聞蔵IIビジュアル内で利用可能。**
- 各界の有識者を中心に経済人、政治家、研究者、文化人、スポーツ選手ら、約36,000人の経歴や連絡先などの情報を収録。

〔読売新聞〕現代人名録 [北大契約データベース内で利用可]



- **ヨミダス歴史館内で利用可能。**
- 新聞紙上などに登場する現代のキーパーソン26,000人を収録。国会議員、自治体首長、文化、スポーツなど18分野から精選、随時更新。

The Complete Marquis Who's Who (R) Biographies [北大契約データベース内で利用可能]



- **Lexis 内で検索ソースとして利用可能。**
- Marquis社で出版している人名録（Who's Who）を収録しているデータベース。政治、法曹、科学、医学、芸術、ビジネスからエンターテインメントまで世界で活躍する現代人名録です。
- Lexisのトップページの画面下にある「Explore Content」の枠内で「Sources」のタブを選択し、検索窓に「Who's Who」と入れると、このデータベースのリンクが表示されます。

▶ 人物文献を調べる

ある人物について、人名辞典類より詳しく調べたい場合は、伝記など、その人物について書かれた文献（人物文献）を調べることになります。

人物文献の探し方については、リサーチナビ（国立国会図書館の調べ方案内サイト）の「人物文献（伝記など）を探す（日本）」が詳しいです。

[\[人物文献（伝記など）を探す（日本）（リサーチナビ）\]](#)